

【国語】

読書感想文で推敲

ClassPad.net のオンライン辞書で推敲をする

【本授業の目的・狙い・到達目標】

文章を書き、辞書を使って推敲をすることで言葉の意味や多様性を理解し身に付けさせる。
推敲前と推敲後でどのような点が変化したのか可視化し理解する。

【ClassPad.net を活用してこの活動を行うメリット】

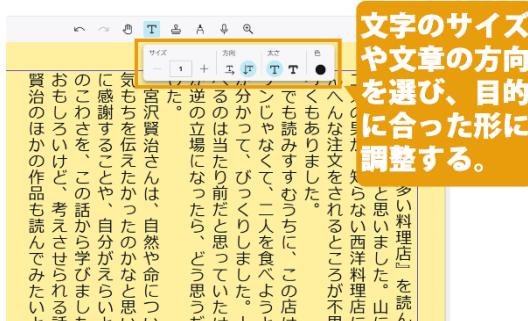
- ★文字を何回も直す作業が簡単
- ★ノートやふせん上から辞書にすぐアクセスできるので推敲しやすい
- ★どのように修正がされたのか変遷を残すことができる
- ★推敲した文章はそのまま先生に提出することができる

Step1

作成・実施の流れ

感想文を作成する

ClassPad.net を使用して読書感想文を作成。

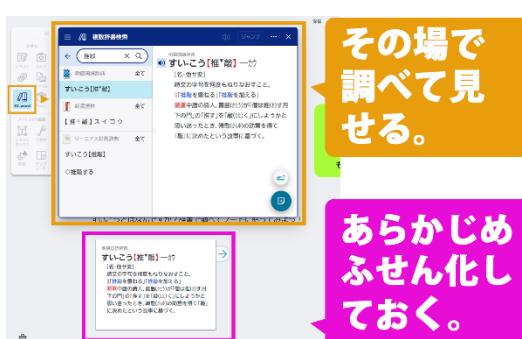


Step2

ClassPad.net での操作

・ふせんを使用して記述。文字を縦書きに変更し、段落を作成する練習も取り入れる。

※ふせん左下の文字カウンターで文字数を把握できます。



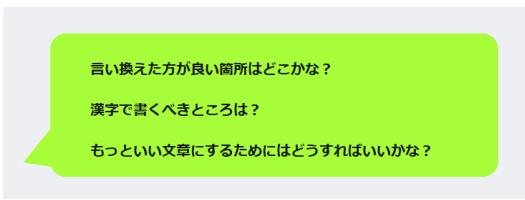
「推敲する」とは何かを説明する

「推敲とは何か？」を説明。実際にどこに気をつけて、文章をどうするのかを指示。

手本としてその場で EX-word 機能を使用して「推敲」を調べる。

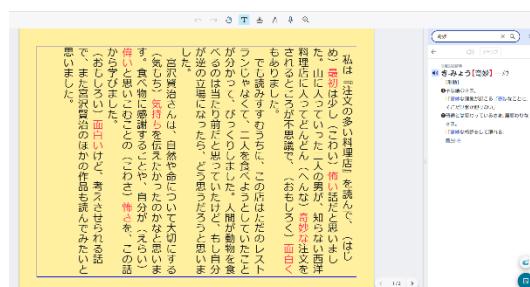
あるいは

あらかじめ EX-word で推敲の意味を調べてノート上に添付する。



生徒がスムーズに活動できるように実際にどこに気をつけて、文章をどうするのかをノート上に明示。

Step3



実際に推敲させる

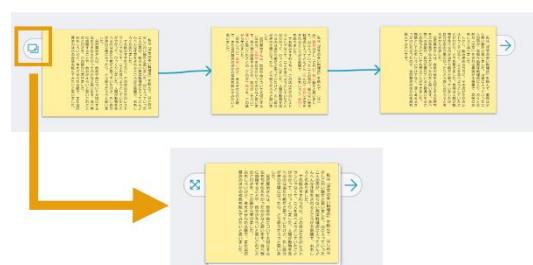
最初に書いた文書を実際に推敲させる。

・推敲後にふせんを一から作り清書をさせるなど最終的にアウトプットさせるものを作成するか検討しておく。

・ふせん内でEX-wordを開き推敲を進めさせる。疑問に思ったことや調べたいことはすぐに辞書で検索させる。

・推敲前の言葉は()で囲む、推敲後の言葉は赤で記述するなどルールを定め、ふせんに記載させる。

Step4

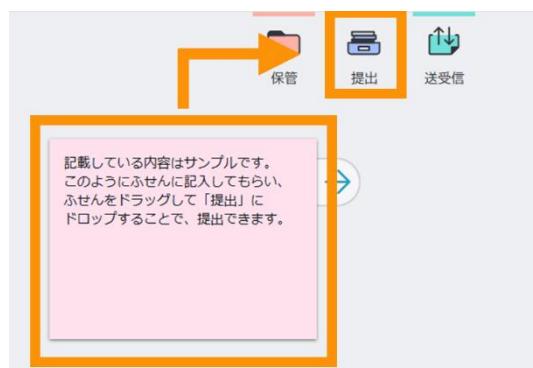


先生へ提出させる

推敲が終わったふせんは先生へ提出させる。

・推敲前と推敲後の文章を両方提出させたい場合はふせん同士を矢印で繋ぎ、ふせんを折りたたんでドラッグ＆ドロップ提出させる。

これにより文章だけでなく「どう変化したのか」を評価できる。



提出箱を作成していない場合は下記の手順で生徒に提出させる前に作成。

- ① 授業からなら提出状況を、ノートからなら提出を選択。
- ② 「+課題提出先」を選択して、提出先を作成する。

